平成27年2月27日　発行

第四十六号

一月一七日（土）晴れ

新年初めの土曜研修は皆で「文化に触れる」というテーマで南座の、前進座初春特別公演『薄桜記』を鑑賞に行きました。

○はじめに

一月の土曜研修は、昨年のお笑いの舞台鑑賞とはがらりと雰囲気を変え、「文化に触れる」というテーマで京都四条南座で興行されていた、前進座初春特別公演『薄桜記』を鑑賞に行きました。

時代劇で有名な忠臣蔵を背景に、その裏でくり広げられるあった男女の情愛を描いた物語でした。剣客同士が討ちあう殺陣シーンは見事で迫力満点、さらに長いセリフにも感心しながら楽しく鑑賞することができました。

↑南座の外観

↑南座の廊下

○研修レポート

『南座で観劇』

今年最初の所外での研修は南座での観劇でした。平成３年に大改修が行われ、昨年末には顔見世に合わせて床の改修が行われたばかりで、大変華やかな雰囲気午前十一時の開演にもかかわらず、１時間前には大勢のファンが特に中高年の女性が歩道にも溢れて並んでいました。前進座の初春公演で演目は『薄桜記』といい男女の情に忠臣蔵の討入を絡めてテンポよく飽きのこない内容でした。プロとはいえ長いセリフを台本もなく喋っているのには感心させられました。私達の席は３階で殆ど貸切り状態で、昼食には上品な折詰弁当も用意され、日常とは違うゆったりした雰囲気を存分に味わいました。

今までは前を通っても中での観劇など思いもしませんでしたが、いい機会を与えてもらってお陰で楽しい時を過ごす事が出来ました。　長谷川　忠雄

↑南座の階段

↑南座の天井

○まとめ

今回企画した南座での演劇鑑賞は建物内に入ること自体が初めての所員も多く、舞台演劇への関心は勿論ですが、南座という建物そのものにも、建築士としての興味を持って触れている所員が多かったと思います。

建築設計に携わるだけに、技術者の目で、舞台構造や舞台転換、音響などに興味を持って熱心に鑑賞している姿が印象的でした。演劇と建築の両方を体験する機会にすることができ、意義のある内容だったと思います。

↑南座の前で集合写真！

←南座の3階から、ほぼ貸し切り状態！

←南座で食べたいわゆる幕の内弁当！

新年を迎え、所員のみんなに今年の一抱負を漢字一字で表して頂きました！

大木

本間

花畑

中村あ

大村

中村友

井澤

河原

下西所長

吹上

豊田

長谷川

岩田